

中国支社

HIROSHIMA

〒732-0821
広島市南区大須賀町14番12号
第一ビル
TEL (082) 263-5523 FAX (082) 568-2927

西日本ネットワーク

中国・四国・九州・沖縄

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

福岡支局

FUKUOKA

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3丁目23番22号
シティ22ビル
TEL (092) 472-3887 FAX (092) 472-3888

拡張移転し業務開始

3年後売上高10億円目標

みがき棒鋼流通のイワサ（本社：大阪府東大阪市、岩佐嘉昭社長）の福岡支店（尾籠武志執行役員支店長）は、物流機能強化のため福岡市東区から福岡県筑紫野市に拡張移転し、8月10日から営業を始めた。みがき棒鋼をはじめとする製造業向け鋼材の扱い品種をそろえ、共同配送便などを活用した物流拠点に育てる。多品種小ロット、短納期のユーザーニーズに対応し、3年後には福岡支店の売上高を10億円まで引き上げる。

イワサ福岡支店

福岡支店はこれまで、福岡市東区多の津の流通団地に倉庫を構えていた。近年の受注増で手狭になったところ、筑紫野市の九州自動車道筑紫野インターチェンジに近い倉庫の一角を借り受けた。これにより倉庫延べ床面積が約396平方メートルから約1120平方メートルに拡大した。



倉庫内

倉庫面積の拡大に伴い、切断機を3基から5基に増強。また扱い品種や在庫量も拡充した。製造業向け、特に製缶分野に使われる平鋼や丸鋼（フレンシ）の扱いを今後増やしていく。

少しばかりの注意があると、多くの場合、ディアルに出る情報に方向性があることがよくある。一つの例が、最新の発表に合わせ、階層的に地ならしをしくものだ。受け取る側は一連の情報からなんく納得することがある。7年8カ月にわたる続いた政権の幕引き、連立勤務の話から、病院での健康検体調不安説、そして

灯台

福岡金網工業

前期、3期ぶり黒字

生産増、コスト削減で

九州・沖縄、山口に拠点を置く金網メーカーの福岡金網工業（本社：福岡市博多区、山本崇裕社長）の前期（2020年5月期）決算は損益が3期ぶりに黒字に転換した。一部事業の売却により売上高は減少したが、主力の金網は生産数量が増加。コスト削減も進め、黒字を確保した。

同社は18年に一部事業の移管で若宮工場（福岡県宮若市）を閉鎖し、主力の金網などの製造に注力。移管に伴い前期売上高は減収となったが、金網の生産数量は増加し、コスト削減も進めたことで黒字を確保。今期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が見えにくい、売上高、利益ともに前期並みの水準を目指している。

同社は1961年に創立、67年に設立。福岡県田川市の田川工場をはじめ、九州と沖縄、山口地区に5工場を展開。人員は80人の陣容。16年9月にはインド北西部のケジャラート州に100%子会社で溶接金網などを製造する「フクアミ・ワイヤリンク・インディア」を設立。インフラ整備の進展から道路側溝やボックスカルバートなどコンクリート製品の需要増加が見込まれるインドでコンクリート製品同様の補強金網を生産している。

九州鉦工業

「持ち直し」の

九州経済産業局はこのほど、2020年6月の九州地区鉦工業動向を発表し、基調判断を「持ち直しの動きが直近ではホムペー

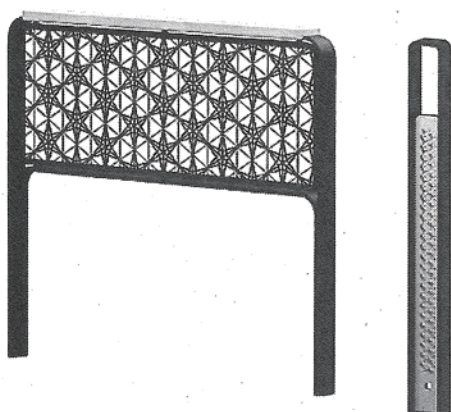
サンポール

車止め2製品投入

スチール製意匠タイプ

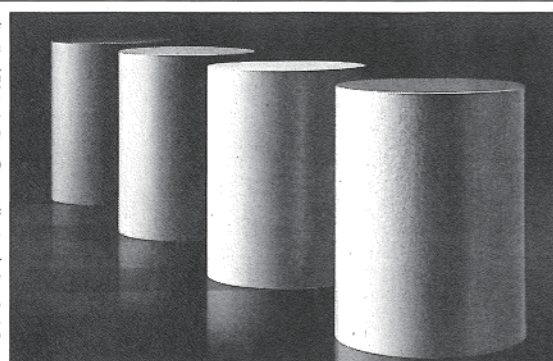
金属エクステリアメーカーのサンポール（本社：広島市、山根以久子社長）はこのほど、新製品のスチール製車止め「和モダンシリーズ組子付」と「コロリエ」の販売を開始した。景観を重視する商業施設、公共施設、ホテル、マンションなどへの採用を目指し、設計事務所などへの川上営業に取り組む。

に、伝統工芸品である組子のデザインパネルを取り付けたもの。和モダンシリーズ組子付（アーチタイプ）とボラードタイプ



和モダンシリーズ組子付（アーチタイプ）とボラードタイプ

タイプとボラードタイプがある。景観を損なわないシンパルなデザインが好評で、商業施設や公共施設などで採用されている。今回、視認性とデザイン性を更に高める狙いで「和モダンシリーズ組子付」の開発に至った。繊細な組子模様は、板厚3・2mmの鉄板をレーザー加工することで表現。デザインは「麻の葉」「七宝亀甲」「欄間」「竜胆」「胡麻」の5つをラインアップ。太陽の光が当たった時の陰影にもこだわった。アーチタイプの標準価格はサイズや付属品により11万5900円から25万6900円。ボラードタイプは6万5400円から10万6000円。



「コロリエ」

例年、全国各地で開催される展示会で営業活動をしているが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての開催中止になったことを受け、PR動画を作成しウェブサイトで公開。2つの新製品に加え、コンクリート充填アーチ「レリーフ付アーチ」「KAERUシリーズ」のPR動画が閲覧できる。

同社は車止め、アルミ旗ポールで国内トップシェアを誇る。1970年に設立し、今年24年に設立50周年を迎える。2018年9月期には売上高49億4000万円、過去最高を記録。19年9月期も売上高49億2000万円を計上した。今後も新製品の開発には力を入れていく方針だ。